



平成25年3月12日

各位

会社名 株式会社 A C C E S S
代表者名 代表取締役社長 室伏 伸哉
(コード番号 4813 東証マザーズ)
問合せ先 社長室長 阿草 明子
(TEL. 043 - 212 - 2232)

平成25年1月期 通期業績予想値と実績値との差異 及び特別損失計上に関するお知らせ

平成24年8月31日付「平成25年1月期 第2四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異、特別損失計上および通期業績予想の修正に関するお知らせ」において公表しました平成25年1月期連結および個別の通期(平成24年2月1日～平成25年1月31日)業績予想値と実績値との間に差異が生じたので、お知らせいたします。また、あわせて特別損失の計上についてお知らせいたします。

記

1. 通期業績予想値と実績値との差異について

(1) 平成25年1月期通期連結業績予想値と実績値との差異
(平成24年2月1日～平成25年1月31日)

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益(円)
前回発表予想 (A)	11,000	1,150	1,300	1,800	4,610.40
今回実績 (B)	11,712	1,425	1,675	2,600	6,705.67
増減額 (B-A)	712	275	375	800	—
増減率 (%)	6.5	24.0	28.9	44.5	—
(ご参考) 前期実績(平成24年1月期)	13,781	278	241	△4,315	△11,009.40

(2) 平成25年1月期 通期個別業績予想値と実績値との差異
(平成24年2月1日～平成25年1月31日)

(単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益(円)
前回発表予想 (A)	6,000	1,200	1,100	2,817.47
今回実績 (B)	6,436	1,803	1,611	4,154.52
増減額 (B-A)	436	603	511	—
増減率 (%)	7.3	50.3	46.5	—
(ご参考) 前期実績(平成24年1月期)	9,714	1,822	△368	△940.73

(3) 差異が生じた理由

【連結】

平成 24 年 8 月 31 日付で発表いたしました平成 25 年 1 月期通期連結業績予想に比べ、主にロイヤリティー収入が増加したことにより、売上高が 712 百万円増加する見込みであります。売上高の増加に伴い売上原価が増加する一方、前期より継続して取り組んでおります全社での包括的なコスト削減を推し進めた結果、営業利益は 275 百万円、経常利益は 375 百万円それぞれ良化する見込みであります。

また、平成 24 年 8 月 31 日付の通期連結業績予想において下期での計上を見込んでおりましたアイピー・インフュージョン・インク再編に関する特別損失等の一部が発生せずに一連の再編施策が完了したこと、及び繰延税金資産に係る回収可能性の検討結果に基づき繰延税金資産を計上（602 百万円）したことに伴い法人税等調整額が減少したこと（当期純利益の増加要因）等により、当期純利益は 800 百万円良化する見込みであります。

【個別】

平成 24 年 8 月 31 日付で発表いたしました平成 25 年 1 月期通期個別業績予想に比べ、上記と同様の理由により、売上高が 436 百万円の増加となり、また経常利益は 603 百万円良化する見込みであります。

また、下記「2. 特別損失の発生及びその内容について」に記載の特別損失が新たに発生すること、及び上記と同様に繰延税金資産に係る回収可能性の検討結果に基づき繰延税金資産を計上（400 百万円）したことに伴い法人税等調整額が減少したこと（当期純利益の増加要因）等により、当期純利益は 511 百万円良化する見込みであります。

2. 特別損失の発生及びその内容について

平成 25 年 1 月期の個別決算において、当社が保有する関係会社株式のうち純資産額が低下しているものに関して、新たに関係会社株式評価損 233 百万円及び関係会社出資金評価損 131 百万円を特別損失に計上いたしました。尚、「関係会社株式評価損」及び「関係会社出資金評価損」は、個別財務諸表で計上されるものでありますが、連結財務諸表上は消去されるため、連結の損益に対する影響はありません。

以 上